



清水カトリック教会 伊豆石の蔵・志みず道 次郎長生家

2019.2.11.mon 参加費無料

江戸期は渡世人、明治期は社会事業家として活躍した清水次郎長（1820-1893）の生家が昨年、国登録有形文化財に登録されました。耐震改修・修繕工事の内容を学習するとともに清水湊の歴史とともにある生家の歴史の物語にふれたいと思います。かつて廻船問屋が建ち並んでいた清水本町の蔵群の小路や志みず道を歩いて、清水カトリック教会をめざします。戦災を被害なく潜り抜け、凜として立つ教会について、三宅理一先生から講義を受けたいと思います。

Schedule

- ①次郎長生家～清水カトリック教会
13:00 次郎長生家集合、説明
13:30 まち歩き（伊豆石の蔵見学・志みず道・清水カトリック教会）
14:00 休憩
14:30 清水カトリック教会。
三宅理一先生の講話（講話時の機器確認）、質疑
16:00 終了、徒歩
- ②交流会
16:20 ドリプラに移動、休憩・土産物購入等。
ドリプラシャトルバス利用等による移動
17:30 交流会（会場：JR清水駅付近。20名程度 会費5千円（予定）
19:00 交流会終了

guest profile

三宅 理一（みやけりいち）
日本の建築史家、藤女子大学教授。専門は近世・近代建築都市史。
1948年東京に生まれ、北海道で育つ。1972年東京大学工学部建築学科卒業、同大学院を経て、フランス留学。1979年パリ・エコール・デ・ボザールを卒業。1981年「ヘルメティシズムの復権18世紀後半のフランス建築におけるアルカイズムの様相」で東大工学博士。芝浦工業大学助教授、教授。リエージュ大学、1999年慶應義塾大学教授、フランス国立工芸院で教え、2010年藤女子大学教授副学長を務めた。

主催 （公社）静岡県建築士会 静岡県ヘリテージセンター-SHEC
TEL:054-254-9381 FAX:054-273-0478 MAIL:honkai@shizu-shikai.com